

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは  
映画の保存を目的とする国際団体です。  
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ



シネラ・ニュース No.202

January.2014



秋刀魚の味

日本映画

名作選

通常上映

総合図書館収蔵の日本映画の秀作・名作のアンソロジー

# 日本映画名作選

通常上映

総合図書館収蔵の日本映画の秀作名作のアンソロジー



ほろよひ人生

会期：1月5日(日)～26日(日)  
※休館日・休映日除く  
観覧料：500円(大人)  
400円(大学生・高校生)  
300円(中学生・小学生)  
※定員制。各回入替制。  
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。  
※障がい者の方は無料。福岡市内の65歳以上の方は250円。(手帳の提示が必要です。)

18 [土] 14:00  
26 [日] 14:00

## 押繪と旅する男



年老いた元木邦晴は、古びたアパートでさびしく一人暮らしをしていた。彼がいつも思い出すのは10歳年上の兄・昌康のことだった。大正時代、邦晴がまだ少年だった頃、昌康は結婚するのだが、妻の百代の相手をせずに、いつも浅草に出かけていた。昌康は押繪の「八百屋お七」に魅了されていたのだ。そして邦晴が昌康に頼まれて双眼鏡を逆にして覗くと、昌康は消え、押繪の中に入ってしまう。

江戸川乱歩生誕100年記念として製作された作品で、乱歩の同名の短編小説が原作。邦晴の少年時代と年老いた現代が交互に描かれるだけでなく、邦晴の現実と想像が混在しており、幻想的で不思議な魅力のある江戸川乱歩の世界を映像化している。主演の浜村純は当時88歳だが、これが初の主演映画となった。

1994年/35ミリ/カラー/84分/バンダイビジュアル=TBS



監督：川島 透  
出演：浜村 純  
鷲尾いさ子

9 [木] 11:00  
12 [日] 11:00

## ほろよひ人生



駅でビールを売っているエミ子は音楽学校の学生アサオが好き。アサオはエミ子のために「恋は魔術師」という曲を作るが、この曲をレコード会社が気に入り大ヒットする。大手ビール会社とのタイアップで作られた日本初のミュージカル映画。当時としてはアメリカ映画のようなモダンな新鮮さだった。

1933年/35ミリ/モノクロ/77分/P.C.L.

監督：木村荘十二  
出演：千葉早智子  
大川平八郎

9 [木] 14:00  
18 [土] 11:00

## 隣の八重ちゃん



東京の郊外。女学生八重子の家の隣には帝大の学生恵太郎が住んでおり、両家は家族ぐるみで仲が良い。八重子と恵太郎の友人のような恋人のような微妙な関係が、当時の東京の中産階級サラリーマンの生活と共に描かれる。木下恵介監督などを育てた島津保次郎監督の代表作で、小市民の風俗と時代の雰囲気巧みに描いて高く評価された。

1934年/16ミリ/モノクロ/77分/松竹

10 [金] 11:00  
19 [日] 11:00

## 五人の斥候兵



岡田中尉率いる部隊は北支那で激しい戦いを強いられていた。ある村を占領した時、部隊の兵士は大きく減っていた。そして岡田中尉は敵情視察のため藤本軍曹以下5名を斥候に出す。田坂監督が発案した物語で、本格化する日中戦争の中において戦意高揚とは程遠い内容の作品だが、高い芸術的評価を得てキネマ旬報一位に輝いた。

※古い作品のため映像や音声の状態が良くありません。ご了承ください。

1938年/16ミリ/モノクロ/70分/日活

監督：田坂具隆  
出演：小杉 勇  
見明凡太郎

11 [土] 11:00  
17 [金] 14:00

## あの旗を撃て



マニラに住む少年トニーは車にはねられ歩けなくなる。マニラに侵攻した日本軍の兵士池島はトニーと仲良くなり、トニーの足を治すため手術を受けさせる。トニーの母親は米軍から教えられた日本軍像が間違っていることを知る。戦意高揚映画であり、フィリピン独立を日本が支援するという宣伝目的で作られた映画だが、映画の完成度は高い。

1944年/35ミリ/モノクロ/108分/東宝

監督：阿部 豊  
出演：大河内傳次郎  
河津清三郎

11 [土] 14:00  
23 [木] 11:00

## 殺陣師段平



大正時代。澤田正二郎が起こした新国劇は、旧来の歌舞伎のような殺陣を嫌い、リアルな殺陣を創造しようとする。一座の殺陣師である段平はなかなか澤田の殺陣が理解できなかったが、妻のお春に支えられ新しい殺陣を創造する。不器用な段平を月形龍之介が熱演、マキノ監督が人情味豊かに描いた芸道版の「王将」。

1950年/35ミリ/モノクロ/104分/東横映画

監督：マキノ雅弘  
出演：市川右太衛門  
月形龍之介

5【日】  
14:00  
10【金】  
14:00

# 大江戸五人男

水野十郎左衛門を頭とする白柄組は江戸で横暴を繰り返していた。ある日芝居の邪魔をしようとした白柄組に対して町奴幡随院長兵衛は敢然と抵抗する。以来十郎左衛門は長兵衛を目の敵にする。松竹30周年記念として製作された時代劇大作。阪東妻三郎と市川右太衛門の二大スターの共演、講談を元に「番町皿屋敷」なども盛り込んだ娯楽作品である。



1951年/35ミリ/モノクロ/132分/松竹

監督：伊藤大輔  
出演：阪東妻三郎  
市川右太衛門

16【木】  
14:00  
25【土】  
11:00

# 私が棄てた女



自動車会社に勤める吉岡は専務の娘のマリ子との結婚を控えていた。ある日吉岡は昔つき合っていたミツの噂を聞く。吉岡はミツに対して肉体的快楽だけを求め棄てたのだ。ミツに対して後悔したい吉岡はミツと再会し、関係を持ってしまふ。遠藤周作の小説の映画化。浦山監督の斬新な映像感覚が冴える作品。

監督：浦山桐郎  
出演：河原崎長一郎  
浅丘ルリ子

1969年/35ミリ/パートカラー/116分/日活

13【月祝】  
11:00  
23【木】  
14:00

# 狂った果実



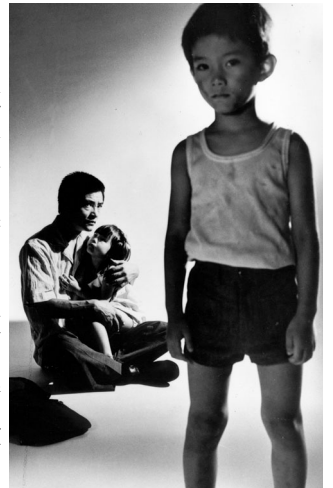
夏久と春次は兄弟だが、女遊びが激しい夏久と違い春次は真面目だった。ある日春次は恵梨と出会い交際を始め、恵梨は真剣に愛するようになる。ところが夏久は横浜のナイトクラブで米軍兵士と踊る恵梨を目撃する。石原裕次郎の記念すべき初主演映画。当時太陽族と呼ばれた裕福で自由奔放な若者たちが描かれる。中平監督の才気あふれる演出が素晴らしい。

1956年/35ミリ/モノクロ/85分/日活

監督：中平 康  
出演：石原裕次郎  
津川雅彦

19【日】  
14:00  
24【金】  
11:00

# 鬼畜



印刷工場を経営する宗吉は妻の他に、愛人の菊代と三人の子供がいた。印刷工場の経営が悪化し、菊代に生活費を渡せなくなると、菊代は三人の子供を宗吉に残してなくなる。妻のお梅は子供たちにつらくあたり、宗吉は子供を棄てる決心をする。昭和32年に起きた事件を元にした松本清張の小説の映画化。親と子の絆を感動的に描いた秀作。

監督：野村芳太郎  
出演：緒形 拳  
岩下志麻

1978年/35ミリ/カラー/110分/松竹

8【水】  
14:00  
12【日】  
14:00

# 秋刀魚の味



平山周平は妻と死別していたが、娘の路子と息子の和夫と三人で特に不安のない生活を送っていた。路子は24歳で周平の友人たちは縁談を勧めるが、周平は踏ん切りがつかない。小津安二郎監督の54作目の作品で遺作。物語は小津監督の名作「晩春」(49年)をリメイクしたような内容だが、より多くの登場人物の物語がちりばめられている。

1962年/35ミリ/カラー/113分/松竹

監督：小津安二郎  
出演：岩下志麻  
笠 智衆

22【水】  
14:00  
25【土】  
14:00

# 蒲田行進曲



新作映画「新撰組」の土方歳三に抜擢された銀四郎は人情家だが、感情の落差が激しい。そんな銀四郎に憧れる大部屋俳優のヤス。銀四郎は女優の小夏を妊娠させてしまい、スキヤンダルを隠すためヤスと小夏を結婚させる。つかこうへいの直木賞受賞小説を映画化した作品。軽快なテンポと主演の風間杜夫、平田満、松坂慶子の演技も見事な感動作。

監督：深作欣二  
出演：風間杜夫  
平田 満

1982年/35ミリ/カラー/108分/松竹=角川春樹事務所

13【月祝】  
14:00  
24【金】  
14:00

# 無法松の一生



明治30年代の小倉。無法松と言われた車引き富島松五郎は偶然吉岡大尉と知り合い、吉岡大尉の死後、吉岡夫人の頼みで息子の敏雄を遅く育てようとする。「無法松の一生」は阪東妻三郎主演(43年)、三船敏郎主演(58年)など計4度映画化された。本作は4度目の映画化で無法松を勝新太郎が演じ、独自の魅力を出している。

1965年/35ミリ/カラー/96分/大映

監督：三隅研次  
出演：勝新太郎  
有馬稲子

17【金】  
11:00  
26【日】  
11:00

# 玄海つれづれ節



横浜で外国商品を扱う会社社長の山岡は事業に失敗、数億の負債を残して失踪する。借金取りに追われる妻のゆきは、夫が九州に向かったことを聞き、故郷の北九州市に帰って夫の行方を探す。吉永小百合が仲間助けられながら自立していく女性を演じる。実際に北九州市で撮影が行われている。

監督：出目昌伸  
出演：吉永小百合  
八代亜紀

1986年/35ミリ/カラー/135分/東映



12/28(土) ▶ 1/4(土)

年末年始の休館日

日  
本  
映  
画  
名  
作  
選

5日		14:00 大江戸五人男
6月	休館日	
7火	休映日	
8水		14:00 秋刀魚の味
9木	11:00 ほろよひ人生	14:00 隣の八重ちゃん
10金	11:00 五人の斥候兵	14:00 大江戸五人男
11土	11:00 あの旗を撃て	14:00 殺陣師段平
12日	11:00 ほろよひ人生	14:00 秋刀魚の味
13月祝	11:00 狂った果実	14:00 無法松の一生
14火	休館日	
15水	休映日	
16木		14:00 私が棄てた女
17金	11:00 玄海つれづれ節	14:00 あの旗を撃て
18土	11:00 隣の八重ちゃん	14:00 押繪と旅する男
19日	11:00 五人の斥候兵	14:00 鬼畜
20月	休館日	
21火	休映日	
22水		14:00 蒲田行進曲
23木	11:00 殺陣師段平	14:00 狂った果実
24金	11:00 鬼畜	14:00 無法松の一生
25土	11:00 私が棄てた女	14:00 蒲田行進曲
26日	11:00 玄海つれづれ節	14:00 押繪と旅する男

27月 休館日

28火 ▶ 2/9日 映像ホールは機器更新のため休映

### 「押繪と旅する男」について

川島 透【映画監督】

『押繪と旅する男』は初めての原作物だった。それまではオリジナルストーリーばかりを手掛けていたのではじめは戸惑いもあった。その上、久しぶりの低予算の作品である。さらに物語の舞台は明治後期から大正にかけてと厳しい条件が重なっていた。こんな悪条件が活動屋魂に火を付けた。この作品を成功に導くために、当初上がってきたシナリオを大胆に改編し、詩的驚きに満ちたスタイルを採った。

撮影にも様々な工夫を凝らした。超望遠レンズを使った移動撮影など常識はずれの方法を敢えて採用した。

この作品には、ほくの他に二人の福岡出身の映画人が参加している。一人は主役を努めてくれた故浜村純さんだ。浜村さんは福岡県糟屋郡の呉服商の家に生まれ福岡商業高校を卒業されている。もう一人は撮影の町田博だ。彼とは数多くのCM作品でコンビを組み、その誠実さとカメラマンとしての才能に惚れ込み何時か一緒に映画をやりたいと念じていた。この作品が彼の映画カメラマンとしてのデビュー作になった。

ひとりひとり名前を挙げることは出来ないが、低予算や厳しい撮影条件を乗り越えて、プロの映画人達がその力を遺憾なく発揮し『宝石のような佳作』が出来上がったと自負している。



押繪と旅する男

#### 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

##### 市営地下鉄

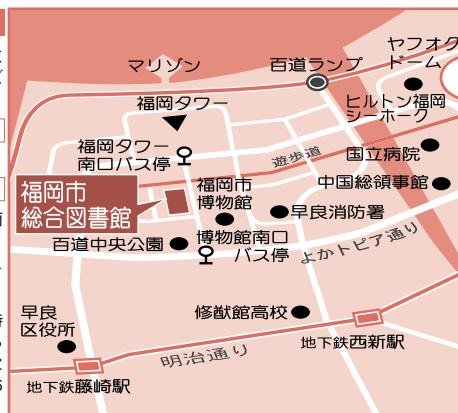
西新駅または藤崎駅から徒歩15分

##### 西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話 0570-00-1010)に直接お問い合わせください。



### 第337回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日 時：2014年1月27日(月) 12:00~13:00 ※入場無料  
場 所：西日本シティ銀行本店 1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)  
曲 目：シューベルト作曲 弦楽四重奏曲第10番変ホ長調 Op.125-1 他  
演奏者：福岡ハイドン弦楽四重奏団  
主 催：西日本シティ銀行/公益財団法人福岡文化財団(TEL 092-473-6777)



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-la  
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館(代表) : 092(852)0600  
Fax : 092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>